





新田 9

新田 9

新田 9

5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5

己酉
規春



ひふの

ひふの

何影

一草亭作

豊田書

五編

上冊

錦林仙鶴二書房梓



竹取空穂伊勢大和諸の物語皆往昔の讀本也更ふりかく書るふあはれと今
のどく條々く人名のり年號月日細密に記され男の女も百官名源氏も
惟光良清其外外人名知む加之昔の俗語も今より見れば雅文と耳遠から
注と讀ても十ふ七八臘月夜ふ梅看る物ぐの對面め分解する不會得文義
譯するよりかかれ長の年月の間で何処で歳を暮らすあれど年表と云昔の
て人の年齢を勘定の合符に思ひあたるも有る見過て改るに憚ることあるを今更
ふも面伏るる朱雀院の擬へ義尚公と三四編の當時の武將と記々演葛と書玉
ふ義植公ふあはれと云と云尚と云と云も實多急作の粗忽ゆても真木柱と梅枝の
間ふ一年たつと云れ極樂寺の法會と云小鉢の一周忌と云三回忌と云りめ此編
の真木柱と説脱せと補ひ例の狂言所ふ加藤藤裏の遺を拾ふ次編の弥上の若米唐
土の鳥のトク拍子の智慧の伝承底とたりと初春の御慶と共ふ松の内より販賣せし

嘉永二年酉新刊

一筆廿弁主人





拾芥抄上云「和琴 宇多法師
寛平は皇弟良重のあまのい名あり云
中と和琴とされと和琴ハミナミヒク
なうねさふふれびふあふ
と先師の作畧なり



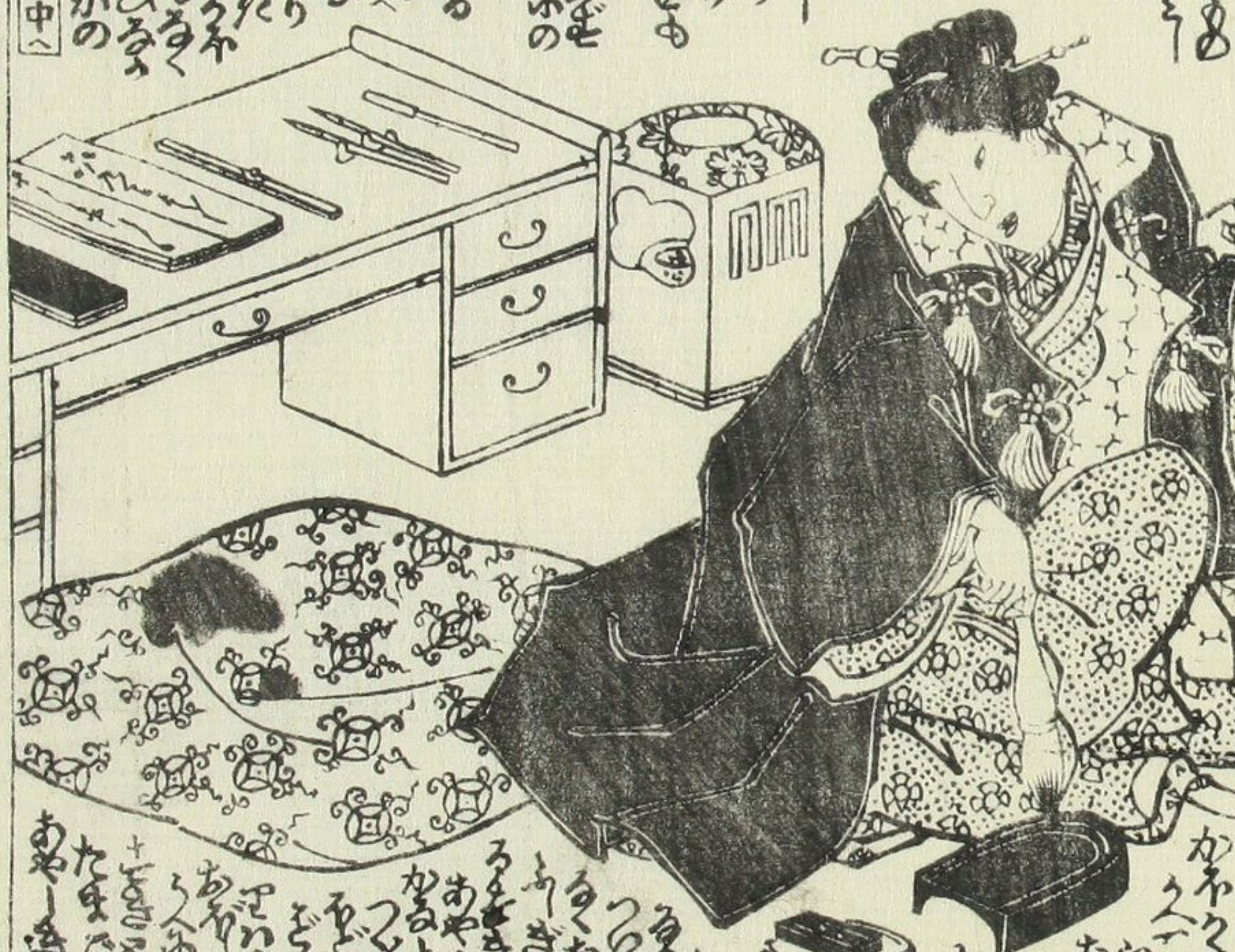
ものひつろふ
 さうする
 ひとくがやあ
 かうぬふ
 るうだとそへるも
 わりくまうひに
 ふあげると
 はちちなる
 ういおう
 がよりゆ
 あせんとき
 ありうて
 そくこう
 いのちえん
 よこいのれど
 つらな
 のしか
 お同さう
 やまひがち
 みじかにわて
 ともねむむ
 つかぬふたの
 まいなる
 かんざし
 かくらふ
 るのも
 いたるけ
 さまや
 あうそ

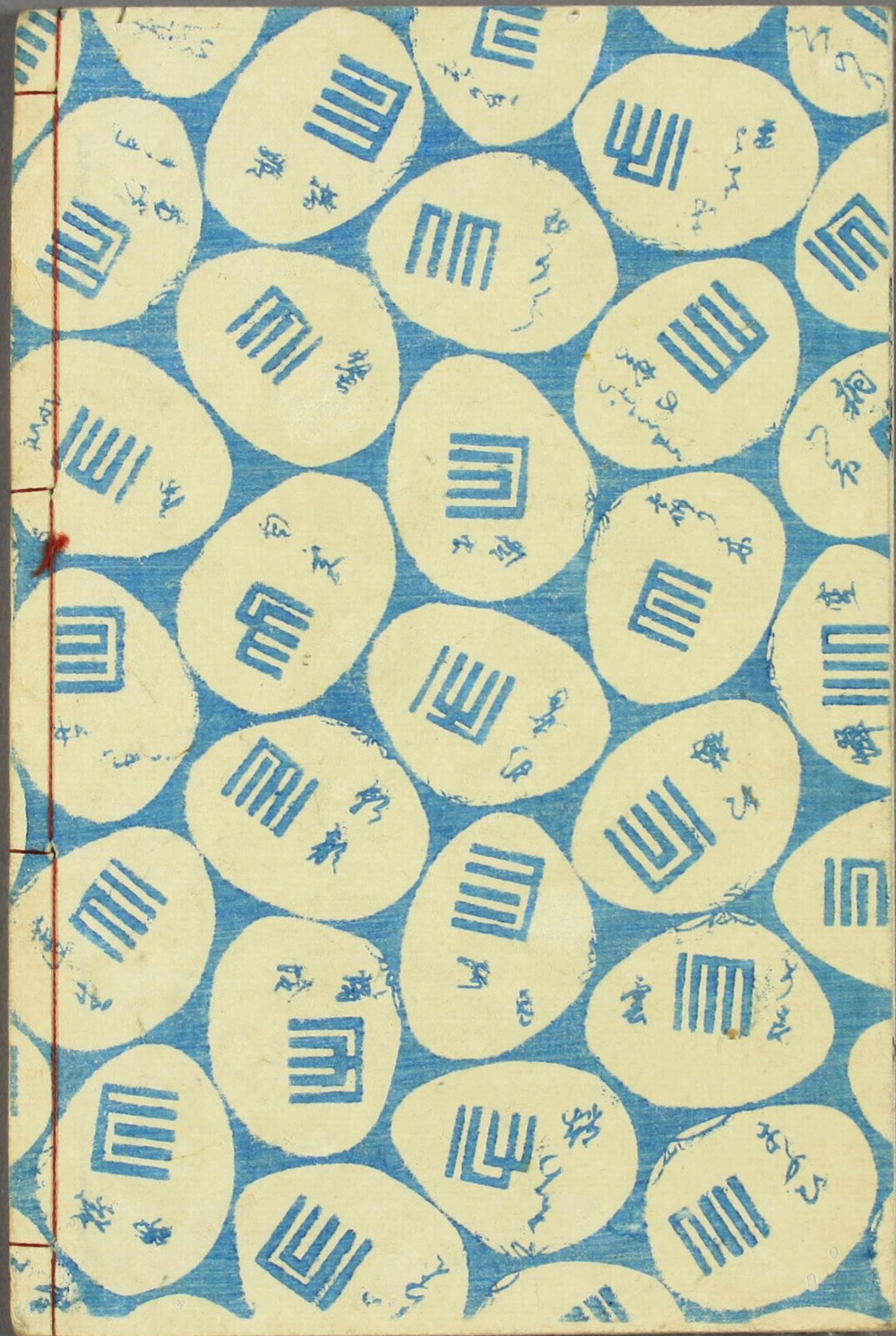
[illegible]

人
 ちまのひ
 ちまま
 ぶあ
 の
 ちま
 てま
 まま
 らあせん
 二十ふ
 あまる
 ひはあどろる仙
 おあつめうやくせも
 うこりふあやわ
 まりともうろくさてぞ
 もあるとあひひろく
 めりうろくふあて
 あるとねへうろくねり
 やけれどもうろくねりよく
 まるのあててうろくさあやま
 くらが宝物集あをよと
 あつろくくとなねりかひろけ
 たるあつろくのうろくふあてと
 るあひひあたまひろくまろび
 めろけあやうろくまろあめ
 ろろとまろあろくめろかじまろふ

人
 ちまのひ
 ちまま
 ぶあ
 の
 ちま
 てま
 まま
 らあせん
 二十ふ
 あまる
 ひはあどろる仙
 おあつめうやくせも
 うこりふあやわ
 まりともうろくさてぞ
 もあるとあひひろく
 めりうろくふあて
 あるとねへうろくねり
 やけれどもうろくねりよく
 まるのあててうろくさあやま
 くらが宝物集あをよと
 あつろくくとなねりかひろけ
 たるあつろくのうろくふあてと
 るあひひあたまひろくまろび
 めろけあやうろくまろあめ
 ろろとまろあろくめろかじまろふ

田買うあふのの
 びる

[illegible][illegible][illegible]



[illegible]

五言古詩



己酉新彫

一筆庵作

豊(電)車

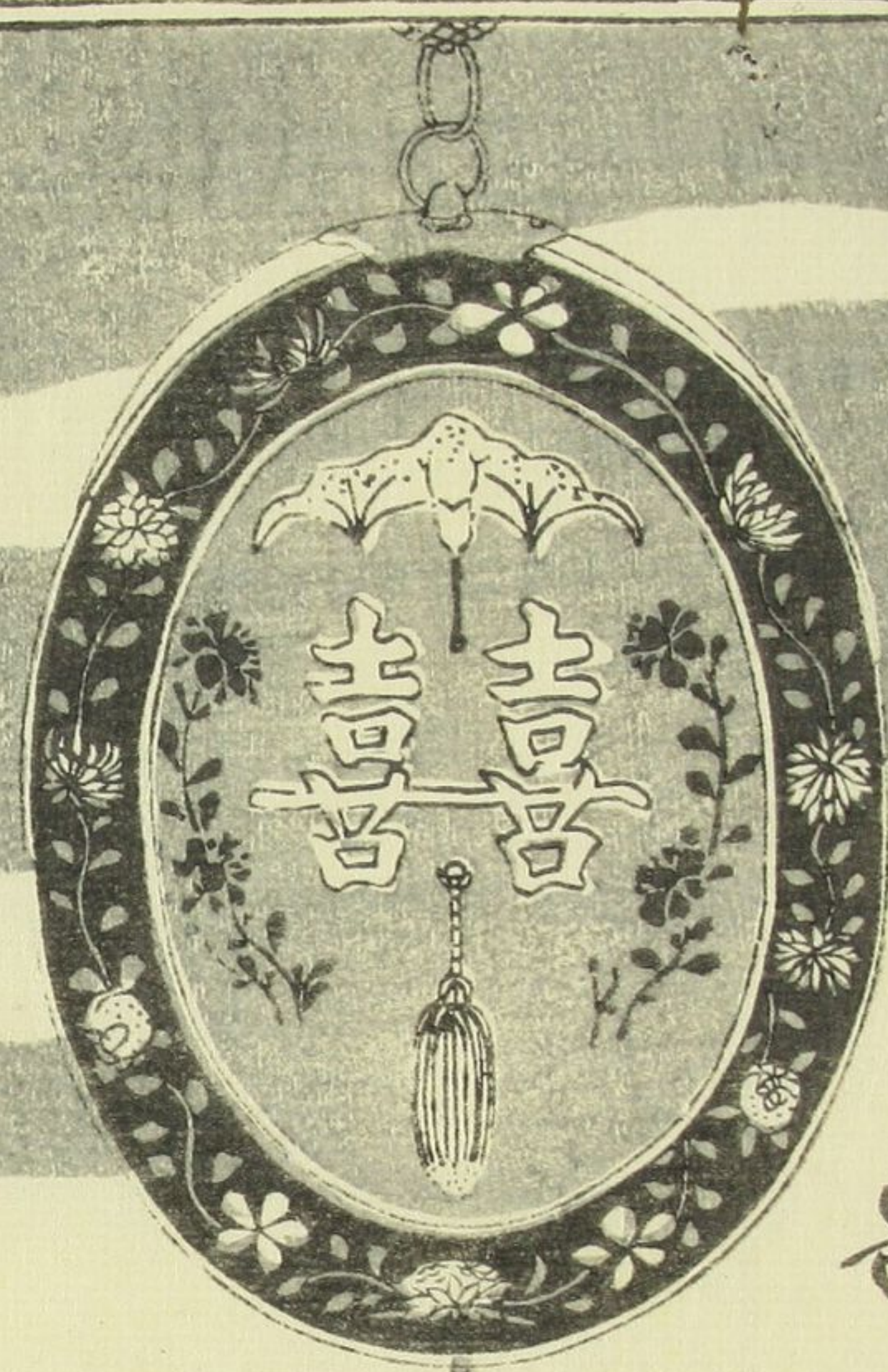
錦林
仙鶴兩鋪
合刻

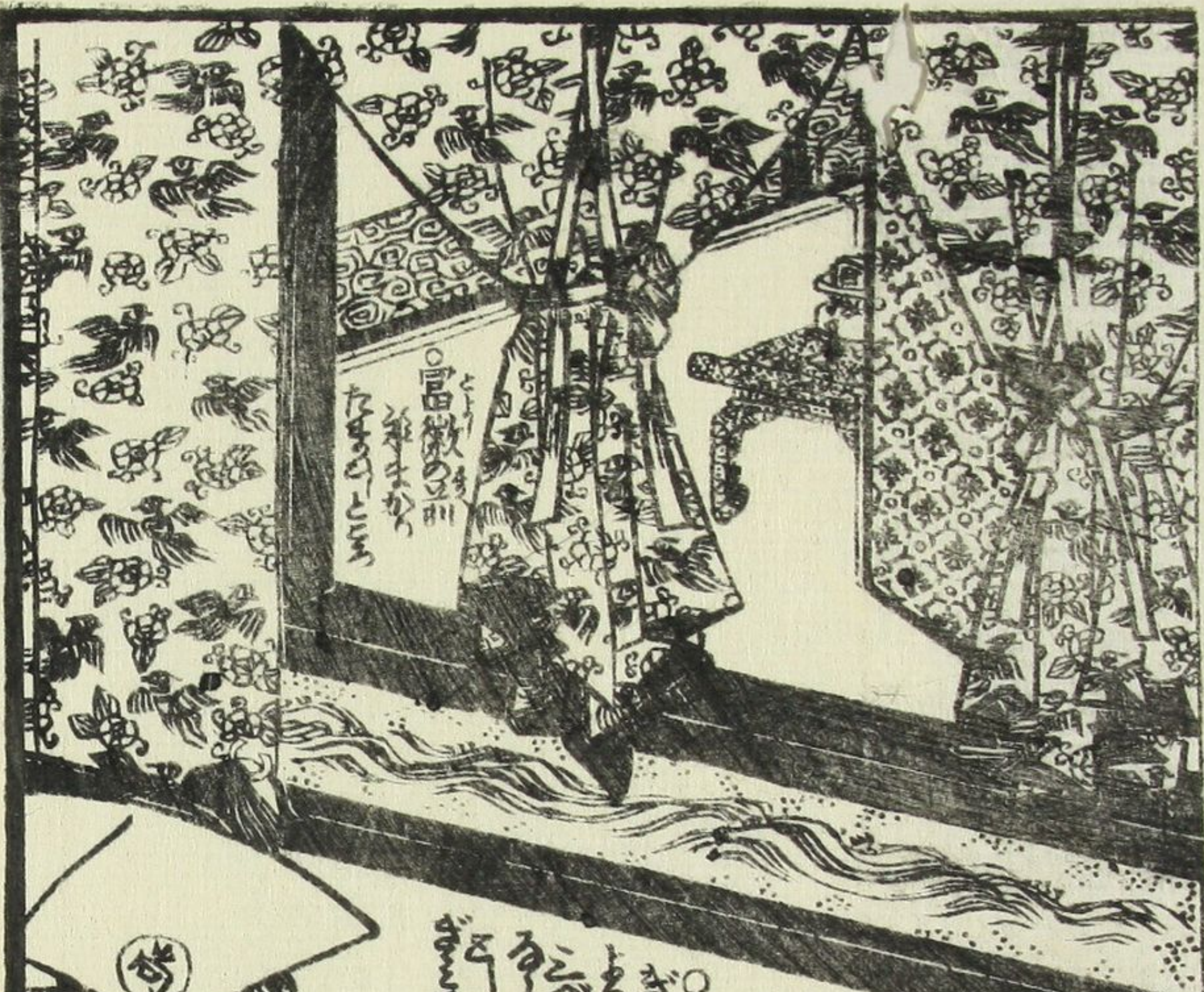
墨水釣大夏手

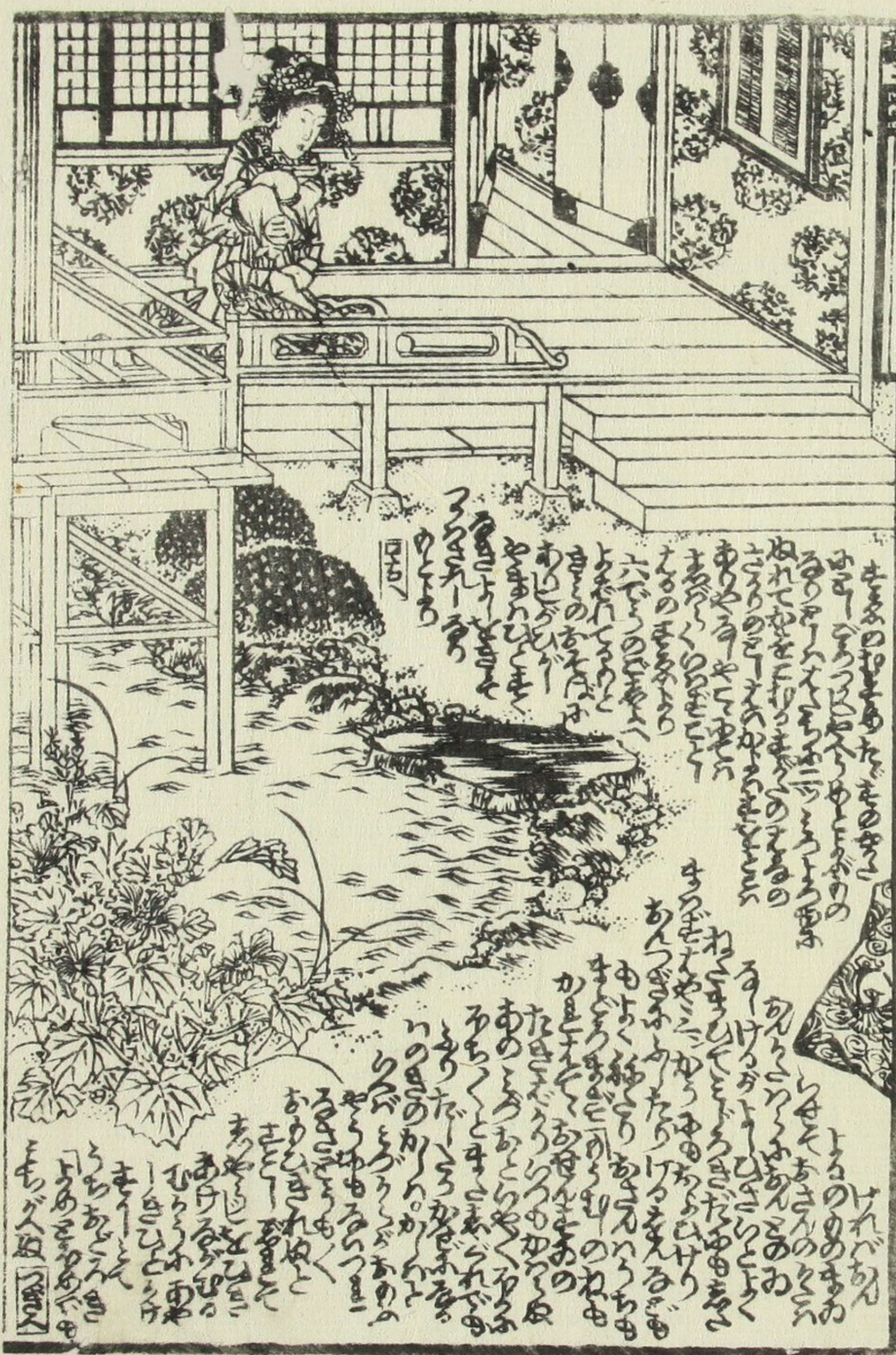
△編下

部の面影

江戸時代



[illegible][illegible][illegible]






中へふよりたて
 はるかにあつた
 せめてけふのまじ
 りふかぬとより
 あまきさののこ
 ころのこよせ
 たすむとこや
 とろけけしむ
 あつたまじりた
 たすふけ
 なるのまじり
 あまきさのけ
 たつたどあま
 ちうけあ
 なまきさめ
 しまきさ
 たまきさ
 さんといふ
 たてき
 たまきさ
 うきさ
 はるかに
 りよあ
 めづとく
 山びと
 山びと
 の



考きたるらうかふちて
ゆもあやふらうらき
ふかぢちやさしき
ちとしらんべもあら
人のこころのけを
まれときくさるなる
あまきあたむら
さけんちちかりひく
のぬひのそのもの
ありそでてるか
ミドらねまひを
いらもくたち
かわりのうち
まひかざるやど
日かれぬえそあうかひの
まひのありきをよく
ひとあわれめけるの
このすみち五んぬるこ
かつうめでうかひふ
ひをきかけつるのと
たまひてそのゆが
ありうさこそあら
ののたりはさる
こそせんねんたあられ
ぢやゆ川ありてある
トせんはあとも
てるりなほこのけ
えろをひいてふらんとあ



うぐいめけふ
まなびされども
こひまごころの
たぐひらとあや
さふらうかひを
かゝらうとあ
ふそれとぞうそ
あまへてかり
びふあかりつゝ
あさるゑあま
せんりつけう
るうんのこ
まひてあそ
さうまごの



あられ　うき
ものこのち
そるふ
やまうこれ
のふえを
とめとあ
東せうが
とせうこと
ゆてゆくへを
うさひ
まふあめ
たふらふ
のかじと
かましく
くさたまふ
うたふ
○あいの
の
たきの
やまは
はあら
つす
とたふこの
うめのま
さうまふ
ふあふ
ふく

